

# カナダ



## カナダ西部地区少年会の教祖ご誕生祭り

去る4月7日(日)カナダ西部地区少年会の教祖ご誕生祭りが、グランビル教会にて行われました。教祖へお祝いの献花、メッセージに続き座りづとめ、よろづよ八首がつとめられました。午後からはお楽しみ行事として、ペーパークラフトが行われました。

天理教アメリカ伝道庁

No.917



tenrikyo.com

APRIL  
2024



# つらつらせんがく 熟々浅学



## — 頑固と信念 —

今月 18 日、教祖は 226 回目のお誕生日をお迎えになられます。それぞれの土地所より教祖のお誕生日をお祝いしていただければ嬉しく思います。

6 月 30 日の伝道庁創立 90 周年記念祭まで約 2 ヶ月となりました。記念祭までの残りの期間、精一杯に成人の道の歩みを進め、大勢の参拝者と共に、晴れやかな心で記念祭を迎えたいと思います。

また、記念祭前日の 6 月 29 日には、アメリカ婦人会・アメリカ青年会創立 70 周年記念合同総会を開催しますので、一人でも多くの婦人会員と青年会員にご参集していただきたいと存じます。

どうぞ宜しくお願い致します。

さて、歳を重ねると「頑固」になるように思われます。

もちろん、若い時から「頑固」と言われている人もおられると思いますが、一般論として高齢になると「頑固」と言われている人が多いのではないのでしょうか。

私も「頑固」と思われているようです。いつから「頑固」と思われるようになったのか知りませんが、少なくとも今は「頑固」と周囲の人々、特に私の家族から思われているようです。

インターネットで調べたところ「頑固」の定義は次のように書いてありました。

1. かたくなで、なかなか自分の態度や考えを改めようとしないこと。また、そのさま。「一な職人」「一なおやじ」

2. 取りついて容易に離れようとしないこと。また、そのさま。「一な汚れ」「一な水虫」

1. の定義の「頑固なおやじ」とは、正しく私のことかもしれませんが、この定義から頑固者は「人の言うことを聞かない」とか「態度を変えない」と言えるのではないのでしょうか。そこには、「自分が間違っていると気付いていても意見を変えない、態度を変えない」ことも含まれていると思います。また、自分の意見や態度が周囲の人々にとって迷惑を掛けていることに気付いている人もいるでしょうし、気付いていない人もいるのだらうと思います。或いは、気付いていても、「最初に言ったことを頑固に変えない」とか「自分の行っていること、やっていることは絶対正しい」と思っているので、周囲の人々が何を言おうとも考えや態度を変えないということなのでしょう。

「頑固」が形成される「過程」があると思うのです。その「過程」とは、最初に「歳を重ねると」と書いたように、「経験」であると思うのです。

人は、自分の経験を元にしてさまざまな判断を下すと思うのです。経験値が高いほど、さまざまな判断を下し易いと思いますが、反対に経験値が低い、経験値がない、或いは何らかの知識や経験の蓄積がないと判断基準を持つことができなくて、そのため、さまざまな判断をすることは困難になるのではないのでしょうか。

もちろん、全く経験のないことや知識を持ち合わせていないことに対して意見や判断を求められることがあります。その時には、それまでの別の分野での経験や知識を活かして意見したり判断したりすることがあると思うのです。

この「経験値」が、将来の「頑固の素」になっ

ているのではないのでしょうか。つまり、先程書きましたように「自分の考えは間違っていない」とか「自分の行動は正しい」と思い、経験値の少ない若者たちに対して「お前たちは間違っていて、私の方がさまざまな経験を元に判断しているので、私の方が正しいのだ。いずれそれが分かる日が来る」と思うようになるのでしょうか。

そのように考えますと「頑固」であることは「経験値が高い」と言えるのではないのでしょうか。

ですので、考えようによっては「頑固者」であることは悪いことではなく、「経験値が高い人」とか「経験が豊富な人」と受け取ってもらえればよいのだと思うのですが、少し奇抜な考えでしょうか。

問題なのは「人の意見を聞かない」ことなのでしょう。

時代が移り変わると、自分が経験してきた時代の判断基準が合わなくなることがあります。ですので、いつまでも自分の「経験値」のみに固執してしまうと判断ミスをする事が出て来るかもしれません。その点で、「人の意見を聞く」ということは必要になることがあるのではないのでしょうか。

このような「頑固」ですが、別の角度から見ますと「信念」と言えるのではないかと思うのです。「自分の経験は正しい」とか「自分の経験は間違っていない」と思うように、少しも「ブレない姿勢」で信仰することは「信念」と言えると思いますし、「頑固に信仰する」と言えるのかもしれませんが。

このように考えれば「頑固」は「信念」の裏返しであると言うのは言い過ぎでしょうか。

インターネットでは、「信念」の定義は次のように書いてありました。

1. 正しいと信じる自分の考え。「一を貫き通す」「固い一」
2. 宗教を信じる気持ち。信仰心。

1.の定義は「頑固」の定義と類似していると思うのですが、皆さんはどう思われますか。「頑固」の定義に「かたくなで、なかなか自分の態度や考えを改めようとしないこと」とありますが、これを言い換えると「正しいと信じる自分の考え」とも言えるのではないのでしょうか。

私たちお道の者は、信仰に対して「頑固」であるべきだと思うのです。つまり、「教えを頑なに守る」とか「教えを頑なに実行する」という意味です。それは「信念」の2.の定義であり、「信仰信念」と言えるのではないのでしょうか。

真柱様は昨年（2023年）の天理教青年会総会で次のようにメッセージをくださいました。

「教祖は終始一貫して、親神様のお心のままに通られました。その教祖の道すがらこそ、神一条のひながたであります。神一条の心とは、一言で言うならば、親神様の思召によって、すべてのことを判断するという心であります。」

この教祖のお心と同様に、私たちの信仰信念を持つことが大切です。つまり、「神一条」ということです。この「神一条」に対して、私たちは「頑固」であるべきでしょうし「信念」を持たなくてはならないと思うのです。

時代に合わせて物事を柔軟に捉えること、つまり、少なくとも一度は周囲の人の言葉に耳を傾ける姿勢は大切だと思いますが、物事の判断基準は、あくまでも親神様の思召に沿って判断するところにあると思うのです。

「頑固」は私にとって「耳の痛い言葉」ですが、「信念が強い」と良いように解釈しておきたいと思います。（笑）

深谷 洋

## 立教187年3月月次祭祭文

これの神床にお鎮まりくださいます親神天理王命の御前に天理教アメリカ伝道庁長深谷洋慎んで申し上げます。

親神様には、一れつ人間の陽気ぐらしを楽しみに、この世人間をお創めくださり、長の年限、天地の恵みを始め、身の内に至るまで、普く御守護を成しくだされ、今も変わることなくお守りくださいます果てしなく深い親心の程は、誠に勿体なく有難い極みでございます。私共は、この御厚恩を片時も忘れることなく、朝に夕に御礼申し上げると共に、及ばずながらも御恩報じを念じて、たすけ一条の道を通らせていただいております。その中にも今日の吉日は、当伝道庁の三月の月次の御祭りを執り行う芽出度い日柄に当たりますので、只今より、ちばの理を頂戴して、役目に与るおつとめ奉仕者一同、心を一つに合せて、陽気に座りづとめ、てをどりをつとめさせていただきます。

御前には、今日の日を待ちわびて参り集いましたよふぼく、信者一同が、日頃の御高恩に改めて御礼申し上げ、更なる心の成人をお誓い申し上げて、勇んでお歌を唱和する状をも御覧くださいますして、親神様にもお勇みくださいますようお願い申し上げます。

昨日は、本年の春季霊祭を無事につとめ終えさせていただくことができました、誠に有難うございました。今後も霊様方の御功績を台にして、更なる心の成人を目指し、道の伸展に努めたいと存じます。

私共は、教祖百四十年祭年祭活動二年目の時旬に、世界にお映しくくださる様々な姿を鑑みて、成人の鈍さを反省しておりますが、これからも教祖のひながたを頼りに、にをいがけ、おたすけに励み、世界一れつが治まるよう努め、また、次代を担う若人に御教えを伝えて行く所存でございます。

更には、管内の教友一同が一手一つになって、当伝道庁創立九十周年記念祭に向けて、真実誠の心と行いを積み重ねて行く所存でございます。何卒、親神様には、私共のこの心定めをもお受け取りくださいますして、たすけ一条の道が一層伸展し、世界の人々が真実の親を慕い、感謝と喜びの心に満ち溢れて暮らすことのできる世の状に、一日でも早く立て替わりますよう御守護の程を、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

# 3 月月次祭神殿講話

シカゴ教会長  
木村 昌人

只今は、深谷庁長ご夫妻を芯に、3月の月次祭をつとめ終えることができました。世界中の人々の陽気ぐらしを願うおつとめにご参拝くださり、誠にありがとうございます。今月は講話を担当することになりましたので、つとめさせて頂きたく思います。どうぞよろしくお願いたします。

本日は、この素晴らしい教えをどのように広めるかについてお話したいと思います。ややもすると、天理教の布教方法を私が指導するかのよう聞こえるかもしれませんが、そのような事ではありません。私は天理教の研究者というわけではありません。天理教に関して受けてきた教育は、3ヶ月の修養科と教会長資格検定講習くらいです。道専務の布教師としては名古屋の布教の家とアメリカ伝道庁で約1年半ご用をさせて頂いただけです。ですから、私の天理教に関する知識は限られており、皆さんと大差ありません。もし天理教を詳しく学びたいなら、教典をご覧ください。

しかしながら、私は32歳で天理教の教会長になり、今年で39年目になります。私は教会長として教勢を振るっているわけではありませんが、長い在任中に少しの成功とたくさんの失敗があります。天理教と他宗教の違いを中心に、お道の教えを伝え広めてきた経験を、本日はお話したいと思います。

私の話は個人的な意見・解釈であり、伝道庁の見解とは関係ない事を念のため申し添えておきます。

ある日、私の息子の一人がやって来てこう質問しました。「お父さん、天理教って、どう説明したらいいの？」たぶん友達に天理教のことを聞かれたのでしょうか。この質問に対して、私が答えたのは、「その人がどんな質問をしたかに



よるね。たとえば、天理教は神道か、仏教か？天理教は神の存在を信じるのか？などのようにね。」このように、天理教をどのように説明するかは、相手が何を知りたいかによって異なります。実を言うと、息子に納得のいく答えをしてやったとは思いませんでした。

以前に天理教を説明する機会があり、同じように困惑したことがありました。私としては「天理教というのは陽気ぐらしを目指す宗教である」というように説明することができます。天理教は天保9年に教祖中山みき様が日本で始めた宗教です。しかしながら、単なる教理の説明であり、この教えがいかにユニークで特別であるかという事は伝えられませんでした。大概は当たり障りのない説明で終わってしまいます。天理教独特の特徴をうまく伝えることができなかったのです。

本日は、他宗教の教義との違いを強調することで、私たちの教えをどう伝えるかについてお話したいと思います。

天理教は現世において陽気ぐらしを実現する教えです。この中で強調したいのは、「現世において」という部分です。宗教というものは人間の日常生活に幸福をもたらすべきものだという一般的な考えとは裏腹に、ほとんどの宗教は現世が究極の平和と幸福を実現する場所だとは信

じていません。むしろ、現世は天国と地獄の間にある通過点なのです。死後の世界の方が重要視されているようです。

しかし、天理教は天国や地獄の存在を信じていません。このような言い方をすれば、インパクトがありますよね。

さらに、おふでさきには人生の目的がはっきりと書かれています。

月日にわにんけんはじめかけたのわ

よふきゆさんがみたいゆへから 14号25

人生の目的は、この世で「陽気ぐらし」を実現することです。おふでさきとは違って、他の大きな宗教の経典には、人生の目的が明確に書かれていないというのが私の理解です。教祖が筆先にしたためられた教えとは反対に、ほとんどの他宗教はこの世を苦しみの場と考えています。

仏教を開いたお釈迦様は、人生が苦しみに満ちていることを目の当たりにして、真理を探究し始めました。この世の苦しみとは、生きること、老いること、病気、そして死です。お釈迦様は苦しみからの解放という答えを追い求め、やがて悟りを開いた人生でした。

キリスト教では、人間はみな罪人です。イエス・キリストによってのみ救われ、天国に行くことができます。この世は真の幸福を実現する場所ではないというのです。

イスラム過激派による自爆テロは、自分たちの犠牲によって天国に行けるという信念によるものです。私は他の宗教を批判しているのではありません。天理教と他宗教の違いを指摘しているまでです。

天理教では、陽気ぐらしを実現する場所は天国ではなく、この世であります。人間は死ぬと、現世と前世の生き方に応じて新しい体を授かるまで、魂は親神様の懐に納められると教えられています。私たちにとって、あの世は一時的な場所で、この世が本当の場所です。その違いを明確にしておくのが良いでしょう。

天理教のもう一つの特徴は、「おぢば」と呼ばれる場所を崇拝することです。おぢばは親神様が人間創造を始められた場所であり、男女5名ずつ、合計10名のかぐらづとめ人衆が月次祭を行う中心であります。十三層の六角形の台からなるかんろだいは、ぢばの位置を示す正確な

場所に置かれています。10名のかぐらづとめ人衆は、人類が誕生し、世界が誕生した時の神様のお働きの10の面を手振りて再現し、全世界の救済を祈ります。

ちょうどいいので、人間と世界の創造のプロセスについて話したいと思います。

神様は最初に男性と女性のひな型を創造され、女性のひな型の体に人間の種を宿しこまれました。九億九万九千九百九十九人の子数を最初に宿し込まれました。そして人間の第一段階がこの数だけ生まれました。そして進化の過程で数え切れないほどの生まれ替わりを重ね、やがて現在の人類になったのです。

こうなるまでには、最初に宿しこまれた子数と同じだけの年月がかかりました。年月については、文字通りの年数だと考える人もいれば、象徴的な数字だと言う人もいます。「元始まりのお話」は旧約聖書の創造の物語とは大きく異なるため、話をする価値があると思ったのです。

驚かれるかもしれませんが、天理教とキリスト教に多くの類似点を発見しました。月次祭に来られる方々は、天理教の教会をキリスト教の教会と間違える人はいないでしょう。前段には3つのお社と9つの鳴り物があります。おつとめは黒い着物を着て、日本の歌に合わせて手おどりをします。表面的には、かなり異なります。しかし、キリスト教の人が天理教の教会を訪問せずにお道の教えだけを読むと、多くの類似点が存在します。

私たちは親神を崇拜し、彼らも神を崇拜します。私たちには元始まりのお話があり、彼らには創世記という人類創造の物語があります。キリスト教は一神教です。天理教も一見すれば一神教です。礼拝の場所は教会と呼びます。天理教について説明していると、「あなた方の神様は私たちキリスト教徒が崇拜する神と同じですか？」という質問をよく受けます。「教会」という言葉を使っているため、天理教の教会はキリスト教の宗派であると考えてる人もいます。天理教の教会はキリスト教の教会ではないことを私はしばしば説明します。

私たちはキリスト教の用語を借用しているので混乱させているのだと思います。「God the Parent」は日本語の「親神様」の優れた訳語です。しかしながらキリスト教との混同を避けるため

に、私は God the Parent ではなく「The Parent of Origin (元の親)」を使うことがあります。教祖は、人間の理解度に応じて神の名前を「神」から「月日」、そして「をや」と変えていく努力をされました。教祖は、初期の頃の信者にとって、より馴染みのある農業用語や建築用語を使用されました。教祖は、人々を教えとより良く結びつけることができるよう、効果的な言葉や比喩を使うよう常に心がけられました。

2014年に「Religious Landscape Study」が実施したデータによると、米国に住む人の70%がキリスト教徒でした。キリスト教徒にはカトリックとさまざまなプロテスタントの信仰が含まれます。50年前はクリスチャンが人口の90%を占めていました。無宗教の人が増えているのです。私たちは自分の教えを誰に向けて伝えているのかをもっと意識する必要があります。残念ながら、また驚きもしませんが、天理教はこの統計には入っていませんでした。

さて、今日のテーマに関連する私の教会について話したいと思います。お付き合いください。私たちの教会は約4年前に名称変更しました。

もともとは「天理教ワシントン教会」でした。なぜワシントン教会だったのかというと、元は1930年にワシントン州シアトルに設立されたからです。教会名はワシントン州にちなんで名付けられました。1941年に第二次世界大戦が勃発すると、布野光蔵(ふのみつぞう)先生とその家族は強制収容所に連行されました。教会も閉鎖されました。終戦後、布野先生はニュージャージー州シーブルックの冷凍食品会社で働くことを条件に収容所から釈放され、1956年にそこで教会を再開しました。布野先生は退職後、1976年に教会をシカゴに移転しました。教会はもうワシントン州ではなかったのですが、教会名は変更しませんでした。

ワシントン教会には後継者がいなかったため、私が日本の親教会から後継者としてシカゴに派遣されたのです。私は教祖100年祭の直前の1985年に教会長に就任しました。教会長に就任した際、教会名を物理的な所在地にちなんだ名前に変更したいと考えていましたが、前任の布野先生ご夫妻がご存命中は教会名を変更しないことにしました。50年以上もの間ご用をされてきた教会名を私が変えると、先生ご夫妻が気



分を害したり失望したりするかもしれないと考えた上でのことです。当時それぞれ85歳と82歳ということで、数年後にチャンスが来るだろうと思っていましたが、間違いでした。布野先生は翌年出直されましたが、奥様は105歳まで長生きされました。そのため、教会名を変更するのに当初より時間がかかったというわけです。

教会名を変えたいと思ったのにはもう一つ理由がありました。「教会」という言葉の訳語として「Church」という英語で使うことに抵抗があったのです。教会名を変えるなら、日本語の「教会」に「Church」を使いたくないと、ずっと思っていました。私にとってChurchとはクリスチャンの礼拝の場を意味します。シナゴグはユダヤ教のもの、モスクはイスラム教徒のもので、

私たちの教会では、天理教の礼拝所を表すのに最適な言葉を見つけようと話し合いました。候補はたくさんありました。サルベーション・センター、ハウス・オブ・プレーヤー(祈りの家)、ミッション・ハウス、キョーカイなどです。結局、Churchの代わりに「Temple(寺院)」を使用することにしました。一般的に宗教上の礼拝場所として使用されるからです。

伝道庁では私たちの教会は「天理教シカゴ教会」と呼ばれていますが、正式な登録名は「天理教シカゴ寺院」であり、天理教を知らない人に天理教を説明する際にはこの名前を使用しています。「寺院」を使用する良い点としては、誰も私たちの寺院をキリスト教の教会と混同しな

いことです。

ここ伝道庁は、今年の6月30日に創立90周年を迎えます。天理教は伝道庁が設立された当初、日本から多くの布教師を派遣し、日系移民とその家族に教えを広めることに重点を置いてきました。それから90年が経ち、お道に生涯を捧げた先人のおかげで、今では北米生まれの先生や英語に堪能な先生がたくさんいらっしゃいます。今こそ私たちはこの素晴らしい教えを広く一般の人々に布教すべき時であり、機は熟しています。この教えを効果的に広めるにはどうすればよいかを考える良い時期でもあります。天理教の教えはアメリカとカナダの多くの人々に強く訴えかけていると私は固く信じています。この教えがうまく広まれば、天理教は米国や

カナダの宗教人口統計に名を連ねることになるのは、疑いの余地もありません。  
ご清聴ありがとうございました。



上記QRコードから伝道庁ウェブサイトにて神殿講話を動画でご覧いただけます。



## 信仰の喜びを分かち合おう！ 私の90周年記念祭

### そして教祖140年祭へ向けて



伝道庁雅楽アンサンブルでは、少年会員を中心としたユースメンバーに信仰の喜びを伝え、教会で奏楽を勤める人材を育成することを目指し、また日本の伝統芸能の伝承を目的に活動を進めています。創立90周年記念祭での余興出演に向けての練習もいよいよ大詰めです。乞うご期待！







## 伝道庁連絡



### 3 月月次祭

祭主 庁長  
 扨者 岡崎マーロン 雪本善  
 賛者 武本エディ 雪本スティーブン  
 指図方 雪本利清  
 神殿講話 木村昌人（英）

### 教会事情

ユタ教会：任命願、臨時祭典願  
 おはこび：2024年3月26日  
 教会長：大林昌代、  
 奉告祭：2024年4月21日  
 加奈陀教会：臨時祭典願、恒例祭日臨時変更願  
 おはこび：2024年4月18日予定  
 創立90周年記念祭：2024年12月1日  
 シカゴ教会：任命願、臨時祭典願  
 おはこび：2024年4月18日予定  
 教会長：木村陽介  
 奉告祭：2024年7月28日  
 台壇教会：移転願、臨時祭典願  
 おはこび：2024年4月26日予定  
 教会長：ソー・リン・ミツノ  
 鎮座祭：2024年7月27日、  
 奉告祭：2024年7月28日

### 三代真柱様十年祭

三代真柱 中山善衛様の十年祭が、2024年6月24日に教会本部にて執り行われます。

### 全教一斉ひのきしんデー

ひのきしんデーを実施された地区の担当者は、実施報告書を伝道庁（担当：増野）までご提出下さい。

### 第85回アメリカ修養会

第85回アメリカ修養会が、2024年7月21日（日）から8月17日（土）まで開催予定です。開講約1ヶ月前（6月16日）までに、英語・日本語クラスは2名以上、スペイン語クラスは5名以上の申し込みがある場合に限り開講予定です。

### アメリカれつ会新規扶育人募集

2024年のアメリカれつ会新規扶育人の募集を開始します。対象は、管内教会長、布教所長、出張所長の子弟子女で、大学入学が決まっている方です。扶育を希望される方は、伝道庁に願書を用意しておりますので、ご連絡下さい。願書締切は、6月30日（日）です。新規扶育人は8月伝道庁月次祭時に発表致します。尚、2、3、4年目の扶育人は、願書の提出はありませんが、休学、転校等があった場合、

8月31日までに必ず伝道庁までお知らせ下さい。

### 能登半島地震募金

能登半島での地震災害への募金は、\$4,324.95 集まりました。この募金は「能登地震」の災害救援活動に役立ててもらえるよう「天理教災害救援ひのきしん隊基金」に届けます。

### 記念祭前大掃除

5月26日（日）の遥拝式後、午後12時30分より、アメリカ伝道庁90周年記念祭に向けて、年末大掃除同様、神殿、附属建物の大掃除を致します。伝道庁近郊の教会長、布教所長、出張所長をはじめ、大勢の教友にもお手伝いいただきたいと存じますので、何卒、よろしくお願い致します。尚、その日、屋食を希望される方は、準備の都合上、5月月次祭（5/19）までに書記にお知らせください。

### 祭典役割

昨年までは、コロナ禍の事情により、おつとめ奉仕者には半年毎に伝道庁祭典参拝の出欠を確認し、また第2日曜日頃までその月の参拝の有無の最終連絡を待っているため、祭典役割の連絡は第2日曜日を過ぎ、多くの方に役割確認の電話を頂戴する状況になっていました。そこで、本年（2024年）より、月初めにはその月の祭典役割をお知らせできるようにしています。就きましては、祭典参拝の有無、或いは変更は、参拝予定月の前月月末までに伝道庁に連絡して下さいようお願い致します。例えば、5月月次祭参拝有無に関しては、今月末（4月30日）までに最終連絡を下さいますようお願い致します。

### 伝道庁人事

2024年4月14日、林慶信・ひろみ夫妻（名東）が伝道庁青年、女子青年として着任しました。



## 各会連絡

### ふしん委員会

- ・MP ホール2階男性トイレの壁が、雨漏りが原因で木材が腐敗している可能性があるため90周年記念祭後に調査と修理を予定。
- ・天理会館の屋根の葺き替え完了。
- ・バイオトープガーデン、布教の家周辺、駐車場の除草作業。
- ・会館前の排水管取り替えに際し、松の切り株を除去。

### 教化育成委員会

- ・今年おやさと練成会を受講する生徒とその保護者を対象に、ハワイの対象者と共にオンラインでのミーティングを5月19日(日)午後4時に開催します。
- ・TSA 春季練成会 5月25日(土)～5月27日(月) 申込用紙はアメリカ伝道庁のホームページから入手可能です。

内容：講話、遥拝式参拝、大掃除参加、お楽しみ行事

### 広報委員会

- ・90周年に向けた活動のアイデアを管内の方々共有できるようにとの思いで、実際に活動している方々の情報を「一れつ・ニュースレター」に掲載しています。つきましては、各教会・布教所・地区、また身の周りの方々の活動情報・写真等の提供をお願い致します。

情報提供先：川上 (kamishuyo@hotmail.com)  
林 (takhayashi@gmail.com)

- ・伝道庁ホームページ「Stories Inspired by Oyasama」動画、「SoulFire」の記録ビデオ、祭典講話、Podcast等が視聴出来るようになっていきます。是非、伝道庁ホームページをご覧ください、また周りの方々に紹介いただきますようお願いいたします。



Stories Inspired by Oyasama



SoulFire

### 婦人会

- ・アメリカ婦人会創立70周年記念写真集の編集、合同総会を準備中。

- ・主任と委員部長などとの懇談会を実施中。
- ・地区総会

サンフランシスコ地区 9月28日(土)

場所：サンマテオ教会

ロサンゼルス地区 9月29日(日)

場所：アメリカ伝道庁

シカゴ地区 9月29日(日)

場所：ミッドウエスト教会

ニューヨーク地区 10月5日(土)

場所：ニューヨークセンター

カナダ西部地区 11月3日(日)

場所：ジョイアス布教所

### 少年会

- ・ファンドレイジングにご協力ください！  
オンラインでポップコーンを販売するファンドレイジングを行います。詳細はチラシをご覧ください。

#### ・KIDS FUNFEST

- 90周年記念祭の週末、少年会員を対象とした行事を行いますので、帰参されますお子様は申込用紙にご記入ください。以下URL、QRコード。

<https://forms.gle/vyYD882Rcq71M1ud9>

- ・少年会おつとめまなび総会

8月17日(土) 於：伝道庁

- おつとめまなびの役割表が今月発表されます。練習を始めてください。ヘルプが必要な方は少年会までご連絡ください。

- ・こどもおぢばがえり 7月24日～30日  
今年からハワイ団との合同隊となります。
- ・海外少年ひのきしん隊 7/25～30



### 青年会

- ・6/29 アメリカ青年会創立70周年記念合同総会  
午後1時30分～、アメリカ婦人会との合同総会
- ・アメリカ青年会では以下の日程で、伝道庁創立90周年記念祭、創立70周年記念総会に向けて、ひのきしんを行う予定にしております。どうぞご参加ください。

4/20 午前10時、バイオトープガーデンの除草

5/19 マットレスの清掃、プレイグランド清掃

イーストホールのリノベーション。

6/16 壁の高圧洗浄、駐車場の草抜き

7/18～24 インターナショナルひのきしん隊

問い合わせは (kkryono@gmail.com) まで。

### NYセンター

- ・3/30-31 青年会ミッションキャラバン  
ワシントンDC方面
- ・文化協会 新学期  
大人クラス185名、子供クラス160名登録

## アメリカ伝道庁創立 90 周年記念祭

創立 90 周年記念祭に向けて、婦人会、青年会の方々を中心に、一手一つに着々と庁内の準備が進められています。5月26日の遙拝式後には、神殿、附属建物の大掃除がおこなわれます。どうぞこぞってご参加ください。



**90th Anniversary**

SHARING OUR JOY OF FAITH  
Tenrikyo Mission Headquarters  
in America

Saturday  
**JUNE 29**

**1:30 - 3:30 PM**

70th Anniversary Joint  
Convention  
Young Men's and Women's  
Associations  
Attended by Mrs. Harue  
Nakayama and Mr. Daisuke  
Nakayama

**3:30 - 9:00 PM**

Commemorative program  
and Dinner Reception

Sunday  
**JUNE 30**

**10:00 AM**

Tenrikyo Mission Headquarters  
in America  
90th Anniversary  
Commemorative Service

**1:30 - 3:00 PM**

Reception and  
Entertainment



TENRIKYO MISSION HEADQUARTERS IN AMERICA  
2727 EAST FIRST STREET  
LOS ANGELES, CA 90033

NON-PROFIT ORG.

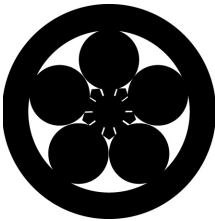
U.S.POSTAGE  
PAID

LOS ANGELES. CA  
PERMIT NO.30002

CHANGE SERVICE REQUESTED

---

## THE JOYOUS LIFE



**TENRIKYO** came into existence on October 26, 1838, when God the Parent, Tenri-O-no-Mikoto, became revealed through Oyasama, Miki Nakayama, to save all humankind. God the Parent is the original and true Parent who not only created humankind but has nurtured and protected human beings ever since.

God the Parent created humankind so that by seeing us live the Joyous Life, God could share in our joy. The living of the Joyous Life is, therefore, the purpose of our existence. Since God the Parent is our Parent, we are all God's children, and thus we could realize that we are all brothers and sisters.

“With human beings:the body is a thing lent by God, a thing borrowed.  
The mind alone is yours.”  
Osashizu:June 1, 1889

We are taught that our bodies are borrowed from God the Parent and only our minds belong to us and, by the proper use of our minds, we will be able to live the Joyous Life.